

## 1.令和5年度在籍について

1)在籍児数 121名(令和6年3月31日現在)

2)年齢別在籍児数

年齢別	1歳児	2歳児	3歳児 (年少児)	4歳児 (年中児)	5歳児 (年長児)	合計
幼児数	5名	15名	25名	31名	45名	121名

3)就園状況

1・2歳児(20名)		3歳児(25名)		4歳児(31名)		5歳児(45名)	
しば保育園	1	グリム保育園	2	こがねい保育園	1	こがねい保育園	3
グリム保育園	2	わかば保育園	2	わかば保育園	2	しば保育園	1
わかくさ保育園	1	わかくさ保育園	1	わかくさ保育園	3	グリム保育園	4
第二愛泉幼稚園	1	愛泉幼稚園	1	愛泉幼稚園	4	吉田保育園	2
むつみこども園	1	第二愛泉幼稚園	4	第二愛泉幼稚園	2	ゆずのこ保育園	1
野ばら幼稚園	2	むつみこども園	1	むつみこども園	2	愛泉幼稚園	8
薬師寺幼稚園	1	野ばら幼稚園	6	石橋幼稚園	1	第二愛泉幼稚園	4
第二薬師寺幼稚園	1	薬師寺幼稚園	6	野ばら幼稚園	6	むつみこども園	2
Yashio 幼稚園	1	第二薬師寺幼稚園	2	薬師寺幼稚園	6	野ばら幼稚園	8
未就園	9			第二薬師寺幼稚園	3	薬師寺幼稚園	7
				Yashio 幼稚園	1	第二薬師寺幼稚園	3
						さつき幼稚園	1
						下館幼稚園	1

## 2.令和5年度療育について

1)療育時間

- ・年少児（グループ療育） 1時間20分（9:00～10:20）
- ・未満児（親子療育） 1時間（10:30～11:30）
- ・年中児（グループ療育） 1時間30分（13:00～14:30）
- ・年長児（グループ療育） 1時間30分（14:40～16:10）
- ・年長児（個別机上療育） 1時間（9:00～10:00）※火・水

2)療育内容

◇親子療育

- ・子どもの特性を親が理解する手助けをしながら、家庭が子どもにとって過ごしやすい場になるよう支援する。
- ・望ましい行動を増やす方法について、保育士や公認心理師等の支援者が一緒に考える。
- ・療育に通う子ども本人だけでなく親も必要な支援を受け、困りごとが軽減するよう支援する。

◇グループ療育

- ・個別療育と集団療育の両方のメリットを合わせもつ療育。
- ・子どもの発達に合わせて細やかな支援をする。
- ・子ども同士のコミュニケーションや模倣を経験し、望ましい行動が増えるよう支援する。

◇個別机上療育（年長児希望者）

- ・机上課題に特化した療育。
- ・子どもの発達や特性、課題に合わせてきめ細やかな療育を提供する。

◇個別支援計画

- ・療育を実践するために必要な個別支援計画の作成(利用開始時作成→以降概ね6か月毎)
- ・保護者へのモニタリング、アセスメント、個別支援計画作成のための支援会議、計画作成を行う。

3)医療相談・専門療育

◇医師相談 年4日

倉根 超 先生

- ・保護者より子どもの障がい特性や発達の過程について相談を受け、助言及び指導を行う。  
(健康の維持、改善を含む)
- ・医療の介入が必要な場合は、医療機関の紹介を行う。

◇作業療法士による からだの使い方や行動の発達相談 年間36日（1日勤務）

児矢野 直美 先生

- ・児の発達を確認しながら、運動動作の基本的技能の向上のための評価と支援を行う。
- ・感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する調整支援を行い、保護者や職員に対し適切な助言及び指導を行う。

◇言語聴覚士による ことばとやりとりの発達相談 年間36日（半日勤務）

滝口 恵 先生

- ・言語やコミュニケーションの基礎的能力向上のため、言語機能の発達を確認し評価を行う。
- ・保護者や職員に対し適切な助言及び指導を行う。

◇公認心理師、臨床心理士による 相談や発達検査 月10日

福田 礼 先生

- ・発達検査・知能検査・行動観察を行うとともに、保護者から児の様子を聴取し状態像をアセスメントする。アセスメント内容について、保護者にフィードバックするとともに職員と共有し支援に活かす。
- ・保護者からの相談を受け、児のかかわり方等助言し保護者支援を行う。

個別相談・発達検査件数

	個別相談	発達検査
R5	33	14

### 3. 令和5年度 年間行事及び専門療育実施内容

月	行事名	専門療育実施	他機関連携
4	療育開始 (6) 避難訓練 (26)	作業療法(19.21.24) 言語療法(13.20.27)	・幼稚園・保育園訪問 (随時) ・関係機関見学同行 (随時) ・関係機関見学受け入れ (随時)
5	下野市就学説明会(8~12) 避難訓練 (25~31)	作業療法(9.15.17) 言語療法(11.18)	・学校教育課 ・健康増進課 (5歳児健康相談事前研修)
6	避難訓練(20)	作業療法(8.9.22) 言語療法(1.15.29) 医師相談(30)	・健康増進課 (5歳児幼稚園等訪問)
7	避難訓練(19)	作業療法(3.26) 言語療法(13.20.27)	・健康増進課 (5歳児幼稚園等訪問) ・国分寺特別支援学校 (療育視察・情報交換会)
8	避難訓練(24)	作業療法(1.4.24.28) 言語療法(3.10.31)	・健康増進課 (5歳児幼稚園等訪問) ・学校教育課 (特別支援教育研修会)
9	運営委員会(13) 避難訓練(25~29) (保護者への引き渡し訓練)	作業療法(7.13) 言語療法(14.28)	・健康増進課 (5歳児幼稚園等訪問) ・学校教育課 (教育支援委員会) ・学校教育課 (学校見学同伴)
10	避難訓練(20)	作業療法(10.18.20.31) 言語療法(5.12.19.26) 医師相談(27)	・健康増進課 (5歳児幼稚園等訪問) ・学校教育課 (教育支援委員会)
11	避難訓練(27)	作業療法(9.17.27) 言語療法(2.16.30)	・通園施設連合会
12	避難訓練(11・12・15・21)	作業療法(6.12.22) 言語療法(7.14.21) 医師相談(8)	・学校教育課 (教育支援委員会) ・自治医科大学 (PCIT 視察)
1	避難訓練(23~25)	作業療法(12.15.23) 言語療法(11.18)	・日光市 (つばさ園視察)
2	避難訓練(16・19・20・29)	作業療法(1.7.19) 言語療法(8.15.29) 医師相談(16)	
3	避難訓練(21) 卒園式・年長児(21~27) (療育曜日ごとに実施) 療育終了 (28)	作業療法(6.12.18) 言語療法(7.14.21)	・学校教育課 (各小学校へ引継ぎ) ・自治医科大学 (PCIT 視察)

( )内は日付

#### 4. その他の活動

##### 1) 研修の実施状況

- ◇令和5年度 栃木県立国分寺特別支援学校職員 交流会 18名  
日時：令和5年7月27日(木) 14時20分～16時50分  
場所：下野市こども発達支援センターこぼと園 療育室  
内容：地域教育相談室「ひまわり」担当職員の療育見学  
国分寺特別支援学校職員とこぼと園職員の情報交換会
  
- ◇令和5年度 下野市特別支援教育研修会（専門研修） 20名  
日時：令和5年8月9日(水) 9時30分～11時30分  
場所：下野市役所 3階 303会議室  
講師：こぼと園 作業療法士 児矢野 直美 氏  
こぼと園 柏崎 裕子  
内容：「教育現場で生かせる作業療法～作業療法士の視点から～」  
「療育における『個別の支援計画』を『個別の教育支援計画』につなぐために」
  
- ◇令和5年度 地域療育支援事業 2名  
日時：令和5年10月23日(月) 9時30分～14時30分  
場所：栃木県立リハビリテーションセンター こども発達支援センター  
内容：療育実地研修
  
- ◇保護者研修会及び保護者交流会 15名  
日時：令和5年10月27日(金) 10時30分～11時30分  
場所：きらら館 スタジオ  
講師：フィットネスインストラクター  
鈴木 玲子 氏  
内容：「心と体を整える リフレッシュヨガ」～呼吸にフォーカスして～  
日頃のストレスから解放され、心身ともにリフレッシュできる機会を設ける。  
ゆったりとした時間の中で、保護者同士が交流する。
  
- ◇自治医科大学付属病院 小児科 視察研修 12名  
日時：令和5年11月5日(火)・12月19日(火)・3月5日(火) 15時00分～17時00分  
場所：自治医科大学とちぎ子ども医療センター  
講師：自治医科大学 小児科医師  
倉根 超 氏  
内容：親子相互交流療法(PCIT)の観察  
発達に課題のある児に対する支援のスキルを習得する。

◇日光市こども発達支援センターつばさ園視察 3名

日時：令和6年1月24日(水) 13時00分～14時30分

場所：日光市こども発達支援センターつばさ園

内容：日光市こども発達支援センターつばさ園の施設及び療育見学  
つばさ園職員とこぼと園職員の情報交換会

2) 関係機関との連携

◇健康増進課

5歳児健康相談

- ・下野市5歳児健康相談研修会において、こぼと園の取り組みについて紹介。(R5.5.24)
- ・担当保育士・保健師・公認心理師が幼稚園等を訪問し園児の観察を行う。
- ・観察後のカンファレンスに参加し情報共有と連携を図る。(R5.7.6～10.26迄 15回)
- ・乳幼児発達二次健診(年間6回)
- ・療育が必要と判断されるケースのお子さんに対して、適切に早期療育への繋ぎ。

◇学校教育課

- ・小学校、義務教育学校(前期課程)入学に向けた下野市就学相談説明会を、学校教育課と社会福祉課で共催。(R5.5.8～5.12)
- ・サポートセンター相談員との個別相談及び就学への繋ぎ。
- ・教育支援委員会の委員として会議に参加。

◇医療機関

- ・発達検査結果等の情報提供書の作成及び送付。
- ・病院受診の同行や情報の連携。

◇幼稚園・保育園等

- ・児の発達や家庭状況について情報を共有するとともに、療育見学の受け入れの実施。

## 5.令和5年度 相談支援事業所こぼとについて

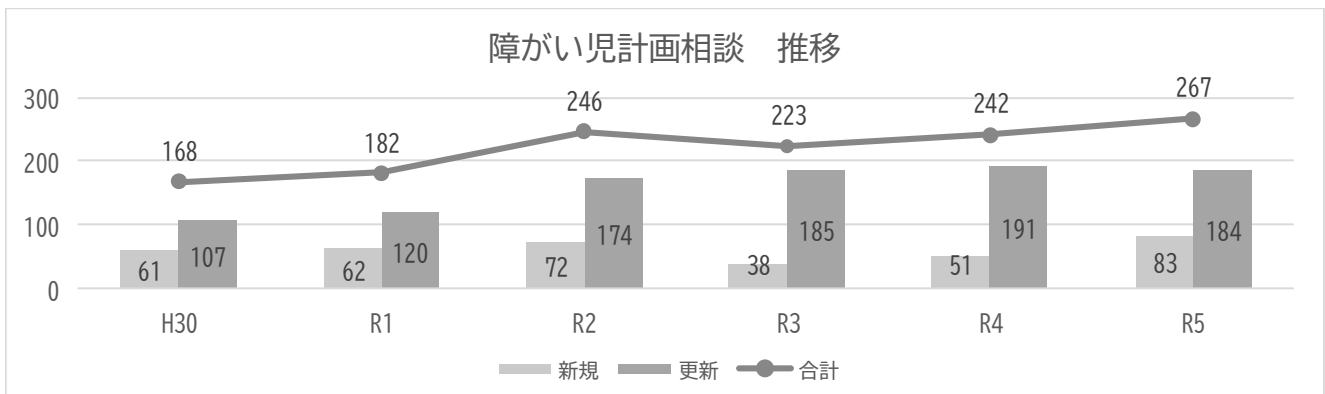
### 1) 相談件数

	面接相談		家庭訪問	
	実	延	実	延
R3	180	250	3	4
R4	171	247	4	5
R5	243	267	4	8

### 2) サービス等利用計画作成件数

	障がい児				特定	
	新規	更新	児発	放デイ	新規	更新
R3	38	185	134	89	0	1
R4	51	191	147	95	0	0
R5	83	184	162	105	0	0

※計画相談：「特定」は障がい者の計画＋障がい児の居宅サービス計画



・療育は、就学の時期に児童発達支援から放課後等デイサービスへとサービスが切り替わる仕組みがある。こぼと園では児童発達支援のみを実施しているため、療育を継続したい場合には、放課後等デイサービスと計画相談を兼ねた事業所に計画を移管している。しかし、市内に障がい児の計画相談を実施している事業所は多くなく、放課後等デイサービスの利用希望者の半数は、そのまま相談支援事業所こぼとで引き続き計画相談を実施している状況である。

### 3) 相談内容について

- ・療育のニーズの高まりとともに障がい児通所事業所が増え、複数事業所の利用やこぼと園利用児以外の相談が増加しており、相談支援専門員の体制の検討が必要となっている。
- ・家庭や集団生活上の対応、就園や就学に関しての相談のほか、医療機関への受診が必要な児の支援調整や受診同伴、学校サポートセンター等と連携、「とちぎリハビリテーションセンターこども発達支援センター」の利用など相談内容は複雑多様化してきており、様々な職種や組織と連携して対応する必要がある。